

医療機器製造で連携

30社・団体協議会設立

東海地方で成長が期待できる医療機器の製造を推進しようと、名古屋商工会議所が呼び掛けたメディカル・デバイス産業振興協議会の設立総会が五日、名古屋市中区の名商であり、地元メーカーや大学など三十社・団体が設立メンバーとして参加した。

代表理事に就任した

察して情報交換するなど、機器の開発につながる具体的な活動を盛り込んだ。新規参入するのにかかせない薬事法の勉強会も開く。

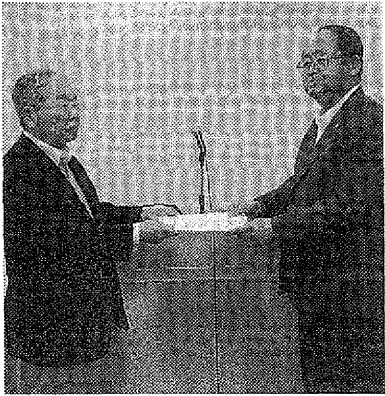
名商の立花貞司副会頭はあいさつで、日本では医療機器の輸入が輸出を大幅に上回っている現状を紹介。「この地域が培ってきたモノづくり技術を応用できる分野。大きな可能性を秘めている」と、産学官の協力を求めた。

本年度の事業計画では、大学病院の医療現場を企業の担当者が視

医療機器を柱産業へ

メディカル・デバイス協議会が始動

名商が設立総会 中部で振興目指す



メディカル・デバイス産業振興研究会の取りまとめた最終報告を受け取る立花氏（写真右）

会長には、名古屋商工会議所副会頭の立花

貞司氏が就任。同研究会会長の筒井宣政氏から最終報告書を受け取った。立花氏は「医療機器産業は輸入が輸出を上回る『人超産業』。モノづくりの力を発揮し、主要産業に育てたい」と抱負を述べた。

医療機器産業を始めとするメディカル分野は、次世代自動車や航空宇宙産業と並ぶ成長分野の一つとして、今後の成長が期待されている。一方、薬事法による規制の高さなどが中小企業の新規参入の障壁となっている。

名古屋商工会議所は

五日、名古屋市中区の名古屋商工会議所で「メディカル・デバイス産業振興協議会」の設立総会を開催した。医療機器分野への新規参入を目指す企業関係者ら約140人が参加

同協議会は09年10月に設立した「メディカル・デバイス産業振興研究会」が前身となつて発足。産学官が連携して、中部地域における医療機器関係産業の振興と発展を目指して